



message

コピスの事業担当としてさまざまな公演運営をするだけでなく、町の歴史ある伝統芸能の車人形に参加し、体験することで、より三芳町への理解が深まるのではないかと思います。今年の公演に演者として参加しました。実際に携わってみて、町の伝統芸能は多くの人と人とのつながりによって支えられているのだと改めて強く感じました。



竹原 宏さん

Takehara Hiroshi

今年の竹間沢車人形公演に演者として参加。音楽事務所を経て、昨年4月からコピスみよしの事業担当として町に携わっている。

古田土 勝一さん、福島 哲夫さん

Kotato Katsuichi & Fukushima Tetsuo

北永井にフルート工房を構える、世界の Kotato & Fukushima Flutes。社長の古田土さん(写真右)は34歳で独立し、同僚であった福島さん(写真左)と工房を設立。低音フルートのために特許を取得した歌口(奏者の口をあてる部分)のデザインは、今や世界標準となっている。



芸術文化に触れてみて

声。

町の芸術文化に触れてみて感じたこと、思うことは……。

message

これからの町の芸術文化には、『活発に動ける人』と『指導者』が必要だと思います。最初から“できない”と考えずに、なんでもできるんだという可能性を信じて、積極的に自分たちで活発に取り組んでほしいですね。そしてそれら個々の文化団体を全体的につなげられるように、中心になる人が何人か出てくると良いと思います。



一般的なフルートは左から3つ目のフルート。巨大なフルートは常識にとらわれない発想から誕生した。



山田 あつ子さん

Yamada Atsuko

映画プロジェクトに2回連続参加。歴史民俗資料館臨時職員や三富ボランティアなど町との関わりが深い。とても気さくで、撮影中の子どもと優しく触れ合う姿が多く見られた。



小林 一恵さん

Kobayashi Kazue

第2回コピスの風コンサートにバイオリン奏者として出演した町内在住の小林さん。4歳のころからバイオリンを始める。歴史民俗資料館が企画した古民家での演奏会にも出演。



message

テレビや映画を観ていて「自分も演じてみたい」と思い参加しました。いざカメラが回ると頭が真っ白になってセリフが出てこないんです(笑)。テレビで見ている俳優さんのすごさが身に染みてわかりました。今回、参加したことで、ロケ地など町内の人や企業が協力してくれて、『三芳町の良さ』を再確認することができました。



message

近所の人との会話の中で「最近、町のイベント面白いね」という話ができました。以前はイベント時、空席が目立ちましたが、最近のロビーコンサートでは大勢の人が来ているようで、少しずつ音楽に対する私たち住民の気持ちが“変化”していることを感じます。広報みよしで興味を湧くような特集を組み、情報を発信しているのも住民にとってはありがたいです。



本気になる。考える。

芸術文化活動を行う上で大事なことはふたつ。本気になることと、考えることです。このふたつを成し遂げられたとき、楽しさに満ちあふれた達成感を得られるでしょう。楽しめば楽しむほど、みんなが幸せになります。思いを込めたものは、必ず相手に届くはず。簡単そうで難しいことですが、このコンセプトを大切に、町の皆さんが幸せになれるようにさまざまなイベントを、私も本気で考えて企画していきたいです。

仲良くなりました。また3校合同で演奏をしてみたいです。
「伊藤部長」 今までの演奏会ではモヤモヤした感じで終わっていたけど、今回はスッキリしたし、こんなに演奏することが楽しいと思っただけは初めてです。終わったときの感動は今までに味わったことのないものでした。また、頑張った分だけいい演奏ができることを改めて実感しました。
 3人、同じ思いがあります。また3校合同で演奏したい

コピスみよし事業担当
 芸術文化プロジェクトのメンバー

今年度のほぼすべてのイベント企画を手がけた。MYT48の生みの親。一昨年11月からコピスみよし事業担当として様々な企画を打ち出している。

三田村 宗剛



三芳中 伊藤部長 藤久保中 山田部長 三芳東中 石川部長

3人の写真にスマホをかざすとMYT48の軌跡が流れます。

プロとの共演、他校との交流を通じ感じたこと。



MYT48を代表して3校の吹奏楽部部長に聞きました